

実務経験のある教員等による授業科目一覧

環境科学部 環境データサイエンス学科

科目CD	科目名	担当教員	配当年次	単位数	実践的教育の授業内容
COM105	キャリアデザイン	樋口貴子	1	2	1級キャリアコンサルティング技能士として、昨今の大学生を取り巻く就職環境の変化に応じた大学生に必要なキャリア教育として、全15回の授業を通して、キャリア理論と組織心理学や人的資源管理・経営管理論をベースに、これからの新しい時代に必要とされるキャリア形成について、自分の将来の指針やキャリア目標を立てるための「自己理解」「仕事理解」「啓発的経験」に関する個人ワークとグループセッションを織り交ぜて、アクティブラーニング形式で展開する。
COM106	ビジネスコミュニケーション	樋口貴子	3	2	民間企業で採用・人材育成に携わった経験、ならびに1級キャリアコンサルティング技能士として民間企業や地方公共団体での能力開発の実務経験を基に、ビジネスコミュニケーションをケースメソッドで指導する。また、実際のビジネスシーンで活かせる実践的な対人技術スキルやビジネスマナーを習得するため、ペアセッションやグループワークを織り交ぜたアクティブラーニング形式での演習を展開する。また、最終回はプレゼン面接として、採用面接を想定した説得力のある「自己PR」をプレゼンテーション形式で実施する。
COM107	キャリア形成演習	樋口貴子	3	1	民間企業で採用・人材育成に携わった経験、キャリアコンサルティング技能士として民間企業や自治体の人的資源管理のコンサルティング経験を基に、年々変化する大学生を取り巻く就職環境に即したキャリア開発の実践力をアクティブラーニングで指導します。就職活動の本番をイメージするため、グループディスカッションや模擬面接などの採用試験を想定した実践演習を行います。よって、2日間の本プログラムでは、リクルートスーツを着用して参加してください。
PSC221	教育・学校心理学	坂本真也	1	2	授業の展開として、基本的に講義形式を取る予定であるが、受け身的な形式ではなく、積極的に考える姿勢を尊重し適宜質疑応答を含めディスカッションを取り入れることも視野に入れている。なお、スクールカウンセラーの実務経験を生かし、特に6回、11回～14回の授業において実践現場の児童生徒が抱える問題について取り上げていく。問題の背景にある発達の特徴や家庭の影響なども踏まえ、事例(ケース)を示しながら支援の実践的な理解(個人の支援と同時に教師や保護者との連携や地域機関との連携など)を促進できるような展開をしたい。
PSC200	臨床心理学概論	二宮有輝	1	2	教員による講義を中心に行う。教員は臨床心理士として非常勤で児童精神科病院、教育センター、学生相談室に勤務し、常勤でスクールカウンセラーとして学校に勤務した実務経験がある。そのため、授業では教員の実務経験に基づいた具体的なエピソードが活用される場面も多くなる。これにより、受講生は本科目の内容について、より具体的な知識として学ぶことができるであろう。
PSC244	産業・組織心理学	高橋誠	3	2	本科目では、労働における人間の行動や心の動きについて、科目担当教員の企業におけるカウンセリング経験を活かし、ワーク・モチベーション、職務満足、リーダーシップ、職務ストレス、職場のメンタルヘルス、キャリア発達、キャリア・カウンセリング、消費者行動などの理論を通して学び、人間と組織の適切な関係を検討する。 さらに、組織における人間の行動に関する理論を基盤としつつ、個人のキャリア形成および職場における問題に対する心理支援のあり方を検討していく。
ENS623	国際協力論	小谷博光	2	2	本科目では、国際開発政策の理論と実践について、科目担当教員のJICAでの実務経験をもとに具体的な事例を交えて学ぶ。特に、国際連合がどのような経済開発、社会開発、人間開発を行ってきたのか、国際社会の動向や国連の条約、多国間・二国間援助の枠組みの中から学ぶ。
			合計	13	